



JAMAICA BLUE MOUNTAIN NO,1 CLYDESDALDE

商品名：BLUE MOUNTAIN NO,1
CLYDESDADE

生産者：セントアンドリュース教区クリフトンマウントおよびクライスデールの生産者

生産地：セントアンドリュース教区クリフトンマウントおよびクライスデール

品種：Typica

標高：1000m～1250m

精製処理：Washed

規格：NO,1 SC-17/18



セントアンドリュース教区内の平均標高1000メートルにある生産地として知られ、ブルーマウンテンコーヒーの生産地の中央に位置している。ロット123。

クライスデールの歴史クライスデール農園は、1787年、英国人コリン・マクラティ博士によって創設された。ジャマイカに旅行でやってきたが、好きになった土地に永住してしまった。コーヒーを商業ベースで生産した最初の農園のひとつである。当時の教区名はポートロイヤルであり、その後セントアンドリュースに変更された。

この地区で生産されるコーヒーの品質がいいことに気づいた農民たちは、マクラティ博士に続けとばかり、クライスデール農園の近隣にコーヒーを栽培し始めた。こうしてクライスデール地区のコーヒー栽培は広がっていった。クライスデール農園のコーヒーは1800年代始めにはすでに輸出されていた。

現在、クライスデール農園は運営はされていないが、当時の精製工場、乾燥場、水車は200年経った今も現存している。かつてハネムーンの常宿だった工場に隣接するクライスデール・グレート・ハウスは、国家遺産としてジャマイカ政府によって指定されている。

クライスデール地区の生産者は、ティピカ種の素晴らしいコーヒーを作り続けている。クライスデール・ブランドはこの地区で収穫されたブルーマウンテンである。他の追随を許さない、そのアロマは、今日でも変わらない。

